

「見えないものは土の中」アーティスト銀MARO講演会

アーティスト銀MAROさんが、漆喰で描かれた作品の寄贈と講演をするために、四中に来校されました。自身の人生経験をもとに、「夢をもつことの大切さ」「考え方を変えることの大切さ」について熱く語っていただきました。かつて目的もなく流されるまま生きていたMAROさんは、無職や車上生活を経験し、生きる意味を見失っていました。しかし、そこで「このままではいけない!」と「覚悟」を決め、自分を変えるために2年間、興味のなかった分野の本を読み続けることで視野が広がり、考え方もあり、人生が大きく変わったといいます。

MAROさんは「目標を持ち、計画、行動、継続することが成功への方程式」と語り、「努力は見えない。まるで土の中にある球根のようだけれど、その努力を続けると、どんどん努力の球根が膨らみ、そして弾け、やがて成功の種となって広がっていく。その成功の種は、いずれどこかに飛んでいき、また誰かのエネルギーになる」と力強く伝えてくれました。それが寄贈された作品に込められた思いです。これまでのMAROさんの生き様と、温かくも力強い語り口に、会場は一気にMAROワールドになりました。さらに、生徒一人ひとりに「自分を変えるのは自分次第」という強いメッセージを残しました。

「人を否定するな。応援される人間になれ。自分を変えられるのは、自分しかない!」生徒たちは真剣にその言葉を受け止めていました。この講演が、一步を踏み出すきっかけになることを願います。

【生徒の感想より】

★MAROさんの話を聞いて、後悔したくないと思っただ。やらない後悔よりやった後悔。僕たち中学生は若いから何でもできる!でもそれに気づいておかないと大人になったときつと後悔してしまう。だから今のうちにMAROさんのように努力をして1%の成功者になれるよう頑張りたいです!

★MAROさんの講演で、絶望になったときの気持ちの保ち方や立ち直り方を学びました。



★毎日同じ日にしないように、思ったらすぐ行動して昨日とは違うことをできるようにしていきたいです。



★MAROさんの話を聞いて救われました。自分は、やるべき事とやりたい事でいっぱいになってしまい、何かのせいにして言い訳して逃げてしまっていたけど、今日の話で、悩んだときはまず行動しよう、小さいことでも頑張ろう、そう思えるようになりたい。今日の話は忘れません!

★人生において「可能性」は自分でつくることができるんだと思いました。生きていく中で失敗もするけど、努力すれば可能性を広げていけること。夢は早く決めた方がいいこと。これからの一度きりの人生をMAROさんのように自分らしく強く生きます。

★人生の希望をもらいました。MAROさんのように尊敬される人になりたいと思いました。



校長先生にサプライズ！9年生からの卒業式



卒業式前日、「校長先生、今卒業式の最終確認をしていたんですけど、ちょっと不安があって、一緒に見ていただけませんか…」と9年生が校長室に…松本校長も（前日になんだ？）と思いながらも、生徒に連れられ体育館へ。体育館の扉が開くと…「卒業生入場！」のアナウンス！戸惑いながらも松本校長が歩いていくと、「これから松本校長先生の卒業式を始めます」会場が大いに盛り上がり、卒業生呼名「令和6年度卒業生 松本浩一 校長先生！」と呼名され、サプライズに感動していた校長先生の声が小さく…「声が小さいのでもう一度お願いします！」なんて返事の催促をされ…登壇。元生徒会長 萩井さんが「卒業証書 松本浩一 昭和39年11月7日生まれ 教員人生の全課程をあなたが愛する土浦四中で修了したことを証する 令和7年3月10日 茨城県土浦市立土浦第四中学校生徒一同」という手づくりの卒業証書を読み上げました。

この3月でご退職を迎えられる松本校長先生に、生徒たちからの感謝を込めて、松本校長先生のための卒業式を開催してくれたのです！こんな大きな感動があるのでしょうか！？松本校長先生の涙腺も崩壊し、校長先生のお話では言葉を詰まらせていらっしやいました…。最後、みんなで校歌斉唱をし、松本校長は9年生全員のアーチをくぐって退場されました。

「幸せだなあ～♡」この日、1日だけで何度この言葉が松本校長先生から聞かれたか分かりません。明日の卒業式では、9年生にも松本校長先生と同じように、「幸せだなあ～♡」という言葉が思わず漏れてしまうような思いでこの土浦四中を巣立って行ってほしいと思います。



各クラスごとに、校長先生への感謝の気持ちを寄せ書きに…小さなカードには書ききれない想いがそこに…。

最高のアーチ!!

教員人生の最後を、ここ四中で、そしてこの教え子達と迎えられること、幸せです!